

子育て層向け商品開発会議

mamatoco プロジェクト!



☆スタート第1弾はオーガニックコットンの「マルチカバー」

mamatocoプロジェクトの原点と言えるべき取り組みは2014年、組合員からの「生協ではベビー用品が買えず困っている」との要望に応えようということから始まった組合員参加による商品開発。

県内の企業の協力を得て「いいものを長く使いたい」という思いと「人にやさしい、地球にやさしい」とされるオーガニックコットンを使って商品開発を行うことからスタート。

様々な学習や提案・話し合いの結果、第1弾としてオーガニックコットンの「マルチカバー」が同年12月に誕生しました。



組合員の声から生まれた
マルチカバー誕生!

着脱も簡単でしかもリバーシブル。いろんな使い方ができるマルチカバーはメンバーの様々なアイデアがちりばめられています。

☆第2弾 オーガニックコットンの「ベスト」

マルチカバーに続き、組合員の「安心して着せることのできるベビー服がほしい」との声からオーガニックコットンの「ベスト」を開発。



明日香村にある栽培畑で実際に綿摘み体験も行い、素材の良さを学びながら開発を進め、2015年2月に販売を開始、マルチカバーと共に組合員から好評を得ています。

mamatoco プロジェクトって?

「mamatoco」とは「ママと子」の意味で、子育て中の組合員が、より親しみやすく関わりやすいようにとの思いで名付けました。子育て層の声を取り入れながら、自分たちが「あったらいいな」と思う商品を開発していく会議です。



☆第3弾「おやつかすてら(豆乳入り)」

子育て中の組合員の「あったらいいな」商品は、衣料品だけではなく、食品など様々な商品に至ります。そこで子育て層の組合員の声をもっと取り入れ、商品の開発をしていこうと2015年度も、子育て層向け商品開発に取り組み「おやつかすてら(豆乳入り)」を開発しました。

気軽に参加できる「mamatocoプロジェクト」とし、商品開発だけではなく、ママ友が集まって持ち寄った気になる商品を出し合ったり、試食をしながら情報交換を行う場としています。

開発や意見交換を行うメンバー

☆商品開発第3弾「おやつかすてら(豆乳入り)」が完成するまで

商品開発第3弾として「子どもや家族に食べさせたいおやつ、朝食」を切り口に「豆乳入りかすてら」を土台とした「おやつかすてら(豆乳入り)」の商品開発が行われ、4月にいよいよデビューします。その模様をご紹介します。

2015年 7月 第1回「子育て層向け商品開発会議 (mamatocoプロジェクト)」スタート

子育て中の組合員と育児休暇中のならコープ職員による2016年3月までのプロジェクトがいよいよスタート。育児に関する悩み事や要望、朝食やおやつの話にもなり、幅広く利用できるような商品を作ることに。

mamatocoプロジェクトのメンバーたち

9月 開発商品を「豆乳入りかすてら」に決定!

開発商品を選定するにあたり、タマゴボーロ・ドーナツ・豆乳入りかすてら・玉子せんべい等を試食。様々な意見の中から「豆乳入りかすてら」を土台とし開発。「かすてら」を朝ごはんかわりにしているという声もあがりました。

10月 商品の検討

既存商品を取り扱う取引先斑鳩町の(株)植嶋の植田常務も参加。メンバーからは商品に対し味や包装、量や値段などの要望が出されました。

10月末 試作品完成

100%国産小麦を使用し、添加物を抑え、型は野菜、味は豆乳の試作品を提案。既存品と食べ比べ、食感が硬くモサモサするなどの点が挙がり、再度試作品を作ってもらうことに。

11月 いよいよ商品化へ

前回の試作品を改良。2種類の試作品から原材料を一部変更し、豆乳の量を増やした国産小麦100%使用の試作品に全員一致で決定。商品名とパッケージについて意見を出し合い、デザインイメージをまとめた。

12月 パッケージの詳細検討

商品の仕様が決定し、パッケージラフ案2種類を基に商品名、パッケージの色やレイアウトを検討。子どもと大人が選ぶイメージが異なることがわかり、良さを融合させたイメージになる様に調整。

▲お子さんもパッケージの決定に参加

2016年 2月 4月の商品デビューに向けて

商品名は「おやつかすてら(豆乳入り)」、包材はピンクを基調とし、子どもの絵を入れたかわいいデザインに決定! 3月4日には製造メーカーの工場を訪問し、最終確認後4月3日の案内でいよいよ4月デビューの「おやつかすてら(豆乳入り)」